

青梅市文化財ニュース

第 2 2 7 号

平成 1 8 年 9 月 1 5 日

発行 青梅市文化財保護指導員連絡協議会

青梅市郷土博物館（青梅市駒木町 1-684 TEL0428-23-6859）

大 荷 田 川 の 水 質

青梅市南東部の丘陵地帯を大荷田川という小河川が東西に流れています。旧二ツ塚峠東側の水源から、友田町で多摩川に合流するまで全長約 4 km。水量の少ない時には、一部で伏流化するなど、水量は豊富とはいえませんが、澄んだ水が流れています。流れにはハヤやカジカなどの小魚も生息し、カワセミも姿を見せます。初夏には、ゲンジボタルの光る様子も散見されます。

この大荷田川に沿った 7 地点で、平成 16 年と 17 年に、市販のパックテストを用いた水質チェックを試みました。パックテストは簡易水質調査用具で、JIS 規格を満たす測定結果は得られませんが、概略的に十分な数値を得ることができます。現在、環境調査や企業の工程管理などに広く用いられています。調査項目は、PH（水素イオン濃度）、COD（化学的酸素消費量）、NH₄（アンモニウム）、NO₂（亜硝酸）、NO₃（硝酸）、PO₄（リン酸）、TH（全硬度）、大腸菌群の 8 項目です（大腸菌群については定性的確認調査）。

大荷田川の上流と下流の水質を比較するために、河口部（多摩川との合流点）と河口から約 2.6km 上流での 2 ヶ所の測定値を下記の表にまとめてみました（平成 17 年調査）。

	調査日時	気温	水温	PH	COD(mg/L)	NH ₄ (mg/L)	NO ₂ (mg/L)
上流部	H17. 10. 31/08:30	13.8℃	15.0℃	6.8	3.0	0	0
河口部	H17. 10. 31/10:20	14.8℃	16.5℃	7.5	3.0	0.1	0

（下表に続く）

	NO ₃ (mg/L)	PO ₄ (mg/L)	TH(mg/L)	大腸菌群
上流部	1.5	0	20	検出
河口部	2.0	0.2	50	検出

（上表より続く）

※NH₄、NO₂、NO₃、PO₄についてはイオン量表示

大荷田川はこの表の上流部（河口より 2.6km 上流）を過ぎると、人家や人工的な施設が多

（裏面に続く）

くなります。概ね、上流部も河口部もほぼきれいなのですが、河口部の PO_4 (リン酸) : 0.2mg/L は、少々多いようです(河口部のリン酸は、0.5 mg/L 程度になることもあります)。リン酸は、肥料や人の食べ物の残滓(ざんし)などから自然界に流出し、水環境の富栄養化の一因になるといわれます。大荷田川の水にも、人の活動の影響が反映しているようです。河川の水質を評価するには、こうした水の化学的成分だけでなく、その水に棲む生き物の状態も併せて判断するとより正確な結果が得られます。

(文責 櫻岡 幸治)